

提供日 2022/10/28
タイトル アリモドキゾウムシの県内初確認について
担当 経済産業部 農業局食と農の振興課
連絡先 農産環境班
TEL 054-221-2626



アリモドキゾウムシの県内初確認について

(要旨)

西部地域で栽培されたさつまいもにおいて、害虫「アリモドキゾウムシ」による被害が県内で初めて確認されました。今後、農林水産省名古屋植物防疫所と連携し発生状況を調査します。

(概要)

1 対象作物及び害虫

- (1) 対象作物：さつまいも
- (2) 害虫名：アリモドキゾウムシ

2 分布

東南アジア、アフリカ、北アメリカ、中南米、オーストラリア等（国内ではトカラ列島、奄美諸島、沖縄諸島、小笠原諸島）

3 形態及び生態

成虫は体長約6.5mm、幅約2.0mm、全体に金属光沢があり、一見アリに似た害虫である。頭部は突き出し、前胸は小さくくびれている。口吻と翅鞘及びその腹面は黒藍色。胸部と脚は赤褐色、触角は黄褐色。

幼虫は成熟すると約6.0mm。細長く、乳白色で弧状に湾曲し、多数のしわがある。頭部は淡黄褐色。蛹は乳白色。

成虫の寿命は平均4ヶ月、その間に雌は平均65個産卵する。幼虫は食害した孔道内で蛹化する。

4 被害

幼虫が、塊根（いも）内に食入し孔道を作る。被害がひどいと塊根内部全体が孔道になり、黒変して悪臭や苦みが発生し、食用や飼料としての利用ができなくなる。また、幼虫は地際近くの主茎にも食入する。成虫も葉や塊根表面を食害するが、被害の主体は幼虫である。被害のみられる時期は6月～11月。人への危害は報告されていない。

5 今後の対応

・農林水産省名古屋植物防疫所と連携し、発生状況の把握のための調査を実施する。

6 情報の問合せ先

食と農の振興課：054-221-2626
病害虫防除所：0538-36-1543